

機 関 紙 第 137 号

# まちづくり

令和 5 年 3 月 31 日

発行／大野地区まちづくり推進協議会・機関紙編集委員会  
〒912-0087 大野市城町9番1号 大野公民館内 ☎66-2828

亀山斜面東側花壇は住民の手によって守られています。大野地区の誇りです。



会長 米村 博之

大野地区まちづくり推進協議会

コロナ禍も4年目にはいり、感染症レベルを5月から「2類感染症相当」からインフルエンザなどと同じ「5類感染症」への引き下げられるようです。しかし感染すれば周囲への迷惑など考慮し、本人や家族は自主的に仕事や学校を休むことになり、引き続き感染予防に努めなければなりません。予防策のひとつであるマスクについて、今年の「サラリーマン川柳」の中に「増えてきた素顔を知らない知り合いが」が選ばれており、「多くの人との出会いの場を作り交流を深めること」が目的とするまちづくり活動も同様で、目から上だけで名前を覚え交流を図っている状況です。

そのような厳しい状況下ですが、今年度はこれまで結びつきの薄かったいろいろな組織や団体などと交流を行いました。芝桜の「咲いているのを見る機会がない」との声を受け開催した、「大野ほりでい」は花見と大野公民館で活動している団体の発表を同時に行うものであり、活動の輪が広がりました。若者たちが運営や取り組んでいる「荒島旅舎」と「七間大盛会」からは起業や取り組み経緯などを集める方策など学び、研修は「地域課題解決」が一歩前に進んでいる石川県羽咋市で、今後の取り組みに反映できる内容となりました。こうした交流を含めた取り組みは、まちづくりの参加者を増やすことに繋がっており、今後も継続していけたらと思います。

最後にありますが、この1年間まちづくりの取り組みに参加やご協力いただきました方々に感謝のお礼を申し上げるとともに、皆様からの今後のご協力ご支援をよろしくお願いたします。



合同会社 越前おおの荒島社 桑原氏



七間大盛会 山元副会長、高柳会長

## まちづくり懇談会

地区名	開催日	内 容	備 考
第1地区	7月12日	地区在住の市会議員との意見交換会	
第2地区	11月16日	振込め詐欺防止対策	おおむね40歳以下の方が4人参加
第3地区	9月25日	SDGs学習会	

地域で活躍している若者との意見交換会を開催しました。昨年9月6日には荒島旅舎で、越前おおの荒島社の桑原主さんを講師に「大野の商店街でにぎわいづくり」をテーマに懇談会を行いました。桑原さんから令和2年にオープンしたホテル荒島旅舎の運営を始め、大野の商店街のアーカイブやアートの展示など荒島社のさまざま取り組みを説明されました。また、昨年12月9日に七間大盛会の高柳亮太会長、山元新副会長を講師にお招きしました。両者が連携して地域を盛り上げるイベントを実施したいなど大野の活性化に向けた積極的な意見交換を行いました。

総務部活動

環境部活動

美化活動



我が町、大野のシンボルである亀山の景観維持のために住民がボランティア活動に参加し、事業に携わること

大野ほりでい



4月30日大野地区まちづくり推進協議会が主催する初めての活動として「大野ほりでい」を開催しました。



視察研修

啓発部活動



10月4日に石川県羽咋市へ役員、地域民合わせて14人で視察研修を行いました。

羽咋市役所で総務部地域振興室見附係長と地域づくり団体「五色の絵の具」定免代表を講師に羽咋市の地域づくりの取り組みを聞きました。

取り組みでは中学生以上の住民からアンケートをとり、町の良いところと不安や困っている課題を年代別で分かりやすくまとめた

町づくりを行うには行政だけや民間組織だけでは出来ず、協働で行うことで住み良い町づくりが出来ると事例を交えながら説明を受け、大野地区の町づくりを進めていく上で羽咋市の取り組みはとても参考になりました。

編集後記

昨年末に降った雪が我が家の庭にも残り、奥越の地大野はまだ寒く春は遠い先だと思ひ日々を過ごしている

私の目の前で草取りをしている家族が目に入りました。お父さんが小学生の男の子と二人の女の子を連れて参加しているのです。

昨年4月末に亀山斜面の美化運動に参加した後、初企画の「大野ほりでい」を開催しました。大野公民館で活動している会員さんに参加していただきました。

大野公民館で活動している会員さんの発表の場にもなり、また、参加者等も一緒に歌ったり踊ったりしてとても楽しいひと時でした。

今後この企画を続け、少しでも多くの方に参加していただき、会場一杯笑い声が溢れる会になることを願っています。

(副会長 萩原勢子)

協力 株式会社 松浦印刷所